

ユースラウンドテーブルについて

1. ユース政策モニター

内閣府において、子供・若者に関する施策をより充実させるとともに、子供・若者の社会参加意識を高めるため、小学校5年生から20代の方々を公募し、政策に対する意見を把握・活用するもの。

2. ユースラウンドテーブルについて

(1) 実施日時

日時：令和4年12月10日（土）10:00～12:00

WEB会議システム（Webexを使用）

(2) テーマ

どんな学校になってほしい？みんなで考えよう！

～次期教育振興基本計画策定に向けて～

【論点】

- ① 今の学校で楽しいと感じていること、悩んでいることのエピソード
- ② これからの学校教育で大切にすべきこと

(3) 参加者

- ・ユース政策モニター：23名
(小学生5名、中学生11名、高校生5名、大学生・大学院2名)
- ・文部科学省職員：7名
- ・内閣府青少年企画担当職員：2名（事務局対応）

3. グループワークで出された主な意見

論点①今の学校で楽しいと感じていること、悩んでいることのエピソード

【楽しいと感じていること】

○小学生グループ

- ・友達と好きなことについて話したり遊んだりすること
- ・クラブ活動で他の学年と触れ合ったりできること
- ・体育で色々なことにチャレンジできること
- ・休み時間にたくさん遊べること

- ・先生と近い視線で話せること。

○中学生グループ

- ・グループ活動を友達とすること
- ・タブレットを使った授業
- ・クラスが違う子たちとも休み時間に話したり遊んだりすること
- ・部活動
- ・ダンスの授業
- ・絵を描くこと

○高校生グループ

- ・部活動
- ・勉強、リフレッシュ、友達と話す時間

○大学生グループ

- ・研究室での英語の輪読、自分で資料を作って、発表する、授業を聞くだけではないところ。
- ・大学で自分のやりたいことにアクセスできることが楽しい。高校までは何で勉強するのかという思いがあった。大学ではこの後の職業に直接かかわる学びができる。
- ・ロケットを作るものづくり活動、設計や製作していく活動。みんなで交流するのが良い。

【悩んでいること】

○小学生グループ

- ・いじめに遭っている人がいること
- ・朝だるくて登校したくなくなること
- ・体調不良で学校に行けなくなること
- ・先生の注意を嫌がる人がいて、改善できないこと
- ・夏のプール授業の後、ドライヤーがなく髪の毛を乾燥できないこと
- ・女子トイレの便座が冷たくて冬季は使用しづらいこと
- ・内科検診で男性ドクターの診察を受けること
- ・通学帽が男子と女子とで形が違うので統一してほしい
- ・背の高さなど努力でどうにもならないことで比べられてしまうこと
- ・マラソン大会の距離が長過ぎること

○中学生グループ

- ・小学校で、勉強が得意な子を取り残されている。中学受験をする子を先生が嫌っている。先生がわかる子には当ててくれない。皆が楽しめるようになっていない。
- ・学校がにぎやかで静かにできない人が多い人がいる。
- ・クラスの数人がタブレットを適切な方法で使っていない。
- ・受験勉強が大変。

○高校生グループ

- ・小テストが多くて対策が大変。
- ・受験勉強が大変。
- ・下校時間が早すぎる。
- ・黙食、コロナによる制限（マスク、修学旅行）。
- ・自主性のない学校生活（生徒会で企画ができない）。
- ・意味の分からない校則、ゴム、ストッキングの禁止、カーディガン（寒暖差の調節）、スマホの制限。
- ・スラックスの導入にあたり意見を聞いてくれない。
- ・制服の値段が高い。

○大学生グループ

- ・オンライン授業で課題が多くなった。毎回小レポートを書かないといけない。
- ・アクティブラーニングをはき違えている先生が多い。グループで話し合う機会が多いが、それだけでいいのか。評価の在り方など。
- ・大学のWi-Fiが弱い。建物が古くて寒い。オンラインが多くてWi-Fiが弱いと不便。

論点② これからの学校教育で大切にすべきこと

【授業・教育関係】

○小学生グループ

- ・色々な境遇の人への共感を高められるような教育があれば良い。

○中学生グループ

- ・この授業が将来何につながるか、どういう場面で役に立つのかなど、その授業の意義を言ってから授業をしてもらいたい。
- ・将来何につながるかを説明するだけでなく、やらないとこうなっちゃうよ、という厳しいこともしっかり言ってほしい。
- ・グループ活動は続けてほしい。緊張して発言できない子供もいるが、一人ひとりの意見が反映されるといいし、学級委員などもやりたい人しかやらない。参加したらいいけれどやらない人もいる。積極的に参加してほしい。
- ・発表する人が少ない。話し合いの場が少ないので積極的にしたらいいと思う。授業も楽しくなると思う。寝ている人もいるけれど、授業を楽しくやれたらいいと思う
- ・絵が得意な子は美術の絵をかくのを選択したり、モノづくりが得意な子は技術、裁縫が得意な子は家庭科、運動が得意な子は体育というようにして、基本の授業は基本の授業として、選択制があるといいと思う。
- ・高校には選択制があるが、中学校でも不登校も来られるようにするには、もっと楽しい授業になるといいと思う。
- ・発表しやすいのは数学、道徳など限られている。発表しにくいのは先生の話聞いてそれを写すだけの授業。

○高校生グループ

- ・情報の科目が増えたが、他の科目が減ってないので負担が増えた。先生も新しい技術に適応してほしい。生徒の負担も考慮してほしい。
- ・文系の科目も減らさずにやってほしい。

○大学生グループ

- ・教科の学習がどう実生活や社会につながっているか見えるようにしてほしい。何で勉強しているのか。丸暗記でテスト終わったら忘れるということは今につながらないのではないのか。種まきだとか言われるが、あまりにも学校で学ぶことが社会から隔離されている。知識詰込みになっている。
- ・先生の考えとして、入試に必要な知識を覚えていい大学に行くということがいいと思っている。共通テストや日本の入試体系がよくないのではないのか。
- ・国際バカロレアは知識よりも概念理解がベースにある。知識の上の次元があるということを理解して、概念として理解し、社会や実生活とつなげることが重要。
- ・勉強の時間とそれ以外の時間がはっきり分けられるようなこと。学校が終わっても塾で勉強ばかり、それ以外のことに時間が使えない。運動会の運営や友達と遊ぶことなど大切。塾バイトでこの大学に受からないといけないと思っている生徒が多いが、本当にそうなのか。
- ・小さいときから進路を考えさせすぎるのはよくないのではないのか。決まっていなくても自信をもっていければよい。

【デジタル関係】

○中学生グループ

- ・デジタル化が進んでいる中で、PCも教科書もあってリュックが重い。なるべく早くデジタル化を進めてほしい。
- ・タブレットで必要なサイト（国語辞典や志望校の情報など）を開こうとしてもアクセスブロックされてしまうのが困る。
- ・使用について制限がなく、遊んだ時に学力が下がるのではないのか。学校のものなので制限があった方がよいと思う。
- ・オンラインのミュートを忘れてしまう先生がいる。画質が悪かったり、聞こえなくなったりする。
- ・デジタル化の映像授業に一本化し、クラスをなくして一人ひとりそれぞれに先生がつくといった仕組みにしてはどうか。特定の集団で授業を進めるのではなく、個人がそれぞれ学ぶけど、何人かの先生で見て回るなどにしてはどうか。
→先生がたくさん必要になってしまうのでは？
配布されたPCがあるので家で授業を受けられたりできるといい。
- クラスをなくすと、授業中で先生と生徒で双方向で話しながら進めていくことができないし、周りの皆との人間関係を築く能力がなくなってしまうのでは。

→クラスはこれまでと同じ人数で、授業は個人が映像教材で見て、質問だけフォームなどで簡単に先生に送って答えてもらうようにしたら、先生を増やさずとも効率的にできるのではないか。

- ・先に予習動画を見て、分からないところを授業で質問できるようにして、分かる人は問題をどんどん解いたりするような形の授業にしたらよい。
- 皆で分からないところを分かるようにしていくのが授業。皆が分かるようになるために先生の授業の質を上げていくことが大事。

○高校生グループ

- ・ICT教育について、先生が端末の使い方をわかっていない。授業で使っていないケースもある。授業の構成や端末の活用の仕方についても生徒の意見を聞いてほしい。

○大学生グループ

- ・小中高はタブレット配られているが、フィルタリングがかかっているが全く開けない。キッズサイトしか使えず、アクセスできるサイトがほぼない。
- ・無断転載などが増えている。ここまでの自分の考えで、ここからは引用だというのが分かるようにするなど。

【学校関係】

○小学生グループ

- ・先生と気軽に話せたり友達と楽しく遊んだりできるような場になってほしい。
- ・ジェンダーやプライバシーなどの問題を中心に改善してほしい（男は青、女は赤と決めつけるなど）。

○中学生グループ

- ・校則をもっと自由にしてほしい。

○高校生グループ

- ・外部の方の意見を聞く機会、体験できる機会を増やしてほしい（進路選択に生きる機会、修学旅行でのビジネス体験など）。
- ・学校間の交流、生徒の意見を尊重して交流の機会を作してほしい。
- ・生徒を中心とした学校運営を実現すべき（将来の社会を担うのは子供）。
- ・先生によって、時と場合によってルールが変わる。生徒も含め、みんなが納得したルールに基づいてほしい。
- ・勉強だけでなく、部活もしっかりやりたい（帰る時間を延ばしてほしい）。

○大学生グループ

- ・小中、いじめあったが、学校がクラス分けなどで配慮してくれた。クラス以外でも部活などで別の居場所があることもよかった。今の子どもたちは塾でも勉強ばかりになっているのではないか。学校以外のコミュニティがあることも重要。
- ・障害のある子はいたと思うが、その時は気付かなかった。いまは配慮されているのではないか。

【教師関係】

○小学生グループ

- ・今の学校教員は忙しすぎる。もう少し余裕があれば、子供一人一人に目を向けて、いじめ問題などに対処できると思う。
- ・学校の先生は子供の意見をもっと聞いてほしい。
- ・学校の先生が落ち着けるような場所も必要だと思う。

○中学生グループ

- ・先生にもいい先生とそうでない先生がある。いい先生は生徒と普通に話せる先生
- ・小学校は学力の差がでやすいところだと思うが、先生は勉強が苦手な子ばかりを見ている。学力ごとに分けた授業（習熟度別学習）をすると先生も授業をしやすし受ける方も受けやすい。
- ・一つのクラスに人数が多い（43人が4クラス）。一クラスに25人から30人くらいだと快適。
- ・ICTなどで、先生だけで対応できないことは、民間の人と連携したり、地域の人などの力も活用したりして、これまでの学校だけでなく、様々な学ぶトビラを増やしていくのがいいのではないか。
- ・不登校の子に関して先生が皆に話を聞くときに、一人一人の話をよく聞いて対応してほしい。
- ・先生がもっとしっかり教えてほしい。雑談が多くて授業が進まなかったり理不尽な先生がいたりする。
- ・学力の高い人にも学力の低い人にも、先生は皆に平等に接するべきだと思う。

○高校生グループ

- ・生徒会で意見を言うが、最初の時点から聞き入れてくれない、検討してくれない先生がいる。生徒会の公約に対して、先生からの事前チェックが入る（髪型など）。生徒の意見を尊重してほしい。

【大学関係】

- ・授業のデジタル教材、デジタル機器を活用すると授業スピードが速すぎてノートテイクなど追いつかない。スライドの授業は通り過ぎていく感じがする。